

プレスキット

ヴァレオ、2016 パリモーターショー で最新技術を披露

目次

パリモーターショーでのヴァレオ	3
直観的なドライビング	3
よりクリーンなドライビングに	6
接続されたドライビング	9
ドライビングをもっと楽しいものに	10
イノベーション戦略	11
2つの重点分野	11
スタートアップ・スピリット	11
参考	13
ヴァレオの最新ニュースをソーシャルメディアでチェック:	13
ビデオ	13

パリモーターショーでのヴァレオ

今年のパリモーターショーでヴァレオは直観的で、クリーンで、接続されたドライビングに向けた画期的なテクノロジーを披露します。これらの先進技術は、世界 19 カ所の研究センターと 35 カ所の開発センターで働く 12000 人近いエンジニアのハードワークの賜物です。

直観的なドライビング

ヴァレオは、市街地での運転が難しい状況でドライバーを支援し、ドライバーと周囲の車、周辺環境との情報交換を促進するソリューションを提供します。

ここではあらゆるタイプの車に搭載できる 4 つのソリューションを例としてご紹介します。

ヴァレオ Cruise4U を屋外展示エリアで実演

今年のパリモーターショーにおいて、ヴァレオ Cruise4U の最新バージョンを紹介します。これは、実際の交通状況の中で自動運転が行えるデモカーです。

ヴァレオ Cruise4U は、ドライバーによるマニュアル運転も自動運転においても運転をより安全にする先進のアクティブセーフティ機能を備えています。

ヴァレオ Cruise4U は、実際の交通状況の中で、ハンドル操作、加速、減速などの運転操作を安全にとりおこなうことができます。ドライバーはいつでも自らドライビングするように制御を取り戻すことができ、Cruise4U のシステムもマニュアル運転をする必要がある状況を検知するとドライバーに知らせます。センサー類とヒューマン・マシン・インターフェースにより、ドライバーは常に車の周辺の状況の変化についての情報を知らされます。

このモビリティにおける画期的なイノベーションは、ヴァレオのカメラ、レーダーと LiDAR 技術を組み合わせて、洗練されたアルゴリズムを備えたソフトウェアによって車両の周辺状況を理解し監視することで実現しました。

この中には、車両の周囲をスキャンし、昼も夜も、晴れでも雨でも霧が出ても、至近距離から 200 メートル以上先の障害物までを検知するテクノロジーが搭載されています。

LIDAR

LiDAR スキャナーは、レーザースキャナーのスペシャリストであるイベオとヴァレオが 2010 年に結んだ独占的パートナーシップによる産物です。



ヴァレオ CRUISE4U の搭載装備

ヴァレオ SCALA レーザースキャナー

レーダーコクーン

カメラコクーン

情報処理ソフトウェア

ヴァレオにとっての課題は、文化的な特性による要因、特に実際の交通状況が国によって違うことです。例えば、パリの環状道路ではスクーターやバイクは車の間を縫うように走りますが、ある国では左側を通行します。こうした市街地でのドライビングの難しさに適応するために、ヴァレオ Cruise4U は、渋滞時の運転を行うトラフィック・ジャム・ショーファーのソフトウェアを搭載しています。同一車線上を走行する時には、停止状態から時速 70 キロまで、前の車両に合わせて自動的に速度をコントロールするので、ドライバーのストレスを大幅に軽減します。

ドライバー・モニタリング

ヴァレオのドライバーモニタリングシステムでは、車載のドライバーモニタリングカメラが、昼も夜もドライバーの表情を捉えており、注意力の低下などが起きていないかチェックしています。

ヴァレオのドライバーモニタリングシステムは、以下の機能を備えています。

- 居眠りをしたり、注意が散漫になったりしている時にドライバーに警告
- ドライバーを認知することで、キーやカードタイプのアクセスシステムより高いセキュリティレベルを提供
- ドライバーによるマニュアルドライブモードに移行できる状態であることを常に確認一半自動運転の自動車にとって重要な機能

ヴァレオ Cruise4U のパリ環状道路 24 時間走行

ヴァレオの自動運転車は、パリ環状道路で 24 時間連続走行を行います。この高速環状道路は、ある部分では車線表示がなかったり、スクーターやバイクが車線をまたいで走行したり、(通常、フランスの高速道路でのルールは逆ですが)合流してくる車が優先であったり、急な追い越し、乱暴な運転、車間距離の短さなどさまざまな要因が組み合わさった複雑な交通状況です。

ヴァレオ Cruise4U は、自動運転モードの中で車線変更ができるように、渋滞を含む実際の交通状況の中で、運転モードの切り替えを行うテストを実施中です。

接続された自動駐車、Park4U リモートを屋外展示エリアで実演

半自動駐車システム Park4U を搭載した車両は世界で 1000 万台以上販売されていますが、ヴァレオはこのほど Park4U リモートを出して、運転支援技術のリーダーシップを確立しました。

Park4U リモートは、縦列駐車にもバック駐車にも対応し、駐車スペースへ入れることも出すことも自動で安全に行うことができます。車体の周りを取り付けられた 12 個の超音波センサーと 4 つのカメラによって、車は常に周辺の状況を正確にモニターし、走行軌道を計算し、ぶつかったりこすったりすることなく、駐車操作を完了します。

Park4U リモートによって、ドライバーはスマートフォンを使って車の外から駐車を始動したり、監視したりすることができます。

ヴァレオ Cruise4U の パリ環状道路 24 時間 走行

パリモーターショーにおいて、ヴァレオ Cruise4U は 24 時間連続走行というかつてないチャレンジを敢行します。

1000
万台

Park4U[®]システム搭載車が世界で販売されました



ヴァレオ PARK4U リモートの構成:

12 個の超音波センサー

4 台のカメラ

1 つのフュージョン・コントロール・ユニット

アルゴリズムを搭載したソフトウェア

安全性を高めるスマート・ライティング・エクスペリエンス

ヴァレオは今年のパリモーターショーで来場者がスマート・ライティング・エクスペリエンスのソリューションを体験できる場を提供します。これは、「ハイ・デフィニション・ライティング」と「ヴァレオ・キネティック・システム」の 2 つの革新的なライティングのイノベーションです。これらの 2 つの画期的なテクノロジーにより、自動運転モードで走行中の車がヘッドランプやリアランプが投影したり表示する光によってさまざまな状況を伝えて周囲とコミュニケーションを取ることができ、安全性を高められるのです。

ハイ・デフィニション・ライティング



「ハイ・デフィニション・ライティング」は、車両前方の道路にカスタマイズされた画像やメッセージの形のビームを投影する画期的なシステムです。このイノベーションにより、例えば、GPS ナビゲーションシステムのガイドや自動運転モードで車のセンサーが検知したリスクなどの情報を投影することができます。

キネティック・リア・ライト



「キネティック・リア・ライト」は、アイコンやカスタマイズされたメッセージを表示することで周辺に状況を伝えます。キネティック・システムを搭載した車は、自動運転モードで、緊急ブレーキをかけた車が前にあることや歩行者が道路を横断しているなど、センサーが危険な状況を検知したことを後続車に伝えることができます。キネティック技術はまた、自動車のパーソナル化にも使えます。例えば、ユーザーは自分の車のロックを解除する時に、リアランプに表示させる画像やパターンのシナリオを選ぶことができます。

10年

ヴァレオは1996年にアイドリングストップシステムを紹介しました

よりクリーンなドライビングに

CO₂ と汚染物質の排出量削減は、もっとも重大な社会的なニーズの一つです。このニーズに応じて、ヴァレオはパワートレインを電動化し、サーマルマネージメント全体を最適化し、空気を改善する画期的な技術の数々を開発しています。これらの3つの点に注力することにより、あらゆるエンジンタイプの車の効率を改善することができます。

マイクロハイブリッドから電気自動車まで

エネルギー消費量とCO₂排出量の低減に取り組んでいる自動車メーカーをサポートするために、ヴァレオはアイドリングストップや電動スーパーチャージャーから電気自動車向けのシステムまで幅広いテクノロジーを提供しています。

ヴァレオはまた、電気システムの世界リーダーとしてのポジションを固め、さらにこの分野を伸ばしていこうとしています。この一環として、ヴァレオは2016年4月にシーメンスと高電圧パワートレインに特化したジョイントベンチャーを立ち上げました。今、ヴァレオが取り組んでいる挑戦は、技術的なリードを保ちながら、マイクロハイブリッドシステムから電気自動車までのあらゆる高電圧と低電圧の技術の選択肢を補完する製品ラインナップを提供するべく製品ラインナップを強化することです。

パワートレインの電動化

ヴァレオの48V化ソリューションは、ガソリン車でもディーゼル車でも、あらゆる車両セグメントに適応可能です。市街地向けの車やコンパクトセダンなど欧州市場で最も売れているセグメントの車に特にマッチしています。

2016パリモーターショーで、ヴァレオは48V e4Sportを世界初公開します。エンジンのパフォーマンスを高めながら、燃料消費とCO₂排出量を低減させる新しいソリューションです。

48V ベルト駆動式スターター・ジェネレーター (IBSG)



48V 電動スーパーチャージャー (ESC)



電動後輪駆動 (48V ERAD)



ヴァレオの48V e4Sportは、卓越したパフォーマンスを発揮するユニークなシステムです。

48V e4Sportは、ブレーキングの回生エネルギーを最大限回収し、48Vバッテリーに貯めて、さまざまな目的に再利用します。たとえば:

- スターター・ジェネレーターによるエンジントルクの増大
- 電動スーパーチャージャーによる走り出しと再加速の際のエンジンパワーの最大化

- **完全電動モードでのドライビングと、低グリップ路面で後輪軸を 48V 電動後輪駆動 (eRAD)に接続することで、効率のよい四輪駆動を実現**

車両の電動化が進む中、48V e4Sport は、48V ソリューションの世界的なリーダーであるヴァレオの豊富なハイブリッドに関するイノベーション群を補完するものです。この中には、48V スターター・ジェネレーターによる廉価なハイブリッドソリューション Hybrid4All と、電動スーパーチャージャーとスターター・ジェネレーターを組み合わせた e4Boost などが含まれます。

最適化されたサーマルマネジメント

車両のサーマルマネジメントは、車室内の快適性を損なうことなく CO2 排出量を抑えるための重要な鍵となっています。

サーマルマネジメントの最適化

今年のパリモーターショーで、ヴァレオは初めて電気自動車とプラグインハイブリッド車向けの画期的なサーマルマネジメント技術を展示します。

冬の市街地ドライブでは、完全な電動走行モードでは、走らせるために使うのとほぼ同等のエネルギーを暖房に使用します。このカテゴリーの車が顕著に増えている中、ヴァレオは新しいサーマルマネジメント戦略を提供します:

- **プラグインハイブリッドパワートレイン向けのスマートサーマルネットワーク:**
内燃機関エンジンと電気駆動システムとバッテリーパックを組み合わせたものです。このシステムは、エネルギーの転換、保管と回収方法に対応し、エネルギー効率を高めます。ヴァレオはまた、大変コンパクトで高性能なリチウムイオンバッテリーパックの信頼性を高めて寿命を延ばす冷却ソリューションを提供しています。
- **車室全体の快適から個々に調整できる快適性へ:**
より指向性の高い風を最適な温度で出すことにより、個々の乗員にアクティブな快適性を提供しながら、必要となるエネルギーを最低限に抑えます。このアプローチには、人間の実際の体とその感じている反応が暑さというものにするかについて、深い理解が必要となります。ヴァレオはまた、高性能な電動コンプレッサーを搭載した静かなエアコンディショニングシステムや、小型軽量のエアコンシステムや、省エネルギーと快適性の最適なバランスをとる理想的な温度調整をするためのキャビンモジュールのアクセサリなども提供しています。
- **乗員にとって快適な温度を保ちながら、冬のエネルギーニーズを低減:**
この実現に向けて、ヴァレオは車室内の内気を高めて、フロントガラスへの結露を防ぎながら冬期の電力消費を抑えるヒートポンプとデュアルフローエアコンディショニングシステムを組み合わせた新開発の構造を提供しています。これらの新技術は、車両のサーマルマネジメントを改善し、走行距離あたりの燃費を改善しながら CO₂ の排出量低減に役立っています。また、これらを電気自動車に搭載することにより、冬期で最大 40%、夏期で 20%まで走行可能距離を伸ばすことができます。

個別対応の快適性



従来のパワートレイン搭載車向けに

ヴァレオは、CO₂とNOxの排出量低減に向けた内燃機関エンジンの車両向けのサーマルマネジメント改善に貢献する技術も開発しています。このために、ヴァレオはさまざまなコンポーネントとモジュールからなるサーマルマネジメントソリューションを提供しています：

- **エンジン冷却ユニット**：新世代のラジエーターとコンデンサーにより、より軽量で、より小型のユニットとなりました。
- **水冷コンデンサー**：ヴァレオが開発したこの技術によって、冷却ユニットを小型化することができました。さらに、ハイブリッドカーの小さなエンジンルームにも搭載できる可能性が広がりました。
- **水冷インタークーラー**：給気の安定化により、加速時のレスポンスタイム改善につながります。
- **より効率が高く信頼性の高い EGR クーラー**：これによりディーゼルエンジンのNOxの排出量を低減し、ガソリンエンジンの燃費を改善することができます。
- **排熱回収システム**：これによりエンジンの暖気時間を早め（燃料消費の低減）、車室内を早く温めること（快適性の向上）ができます。
- **サーマル・アキュムレーター**：ヴァレオが特許を取得している新素材を使用しています。カプセル状の形状により、アキュムレーターは9時間まで熱を保管することができます。この熱はクーラントを温め、エンジン水温や車室を迅速に温めるために使われます。
- **サーモエレクトリック・ジェネレーター**：排熱を回収して発電するもので、新たなエネルギー源として使用でき、燃料消費の低減につなげることも視野に入れています。



冷却ユニット

空力の改善

今年のパリモーターショーでヴァレオは、車両の前方のスペースを空けつつ、省エネルギーにつながる、空力を改善する一連の製品群も展示しています：

- **軽量ボルスター**：新開発のグラス・カーボンファイバーと熱可塑性樹脂を使用したコンポジット材により堅牢で軽量のソリューション性能と車室の安全性を保つソリューションです。これにより、
 - スチールと比較して30%から40%の軽量化
 - アルミニウムと比較して25%から30%の軽量化
- **アクティブグリルシャッターシステム**：エアコンの出力が最大ではない時に、車両前方のラジエーターのグリルシャッターを閉じることで、空気抵抗を平均で9%改善し、そして非常に寒い時のエンジンの暖気時間を短縮します。
- **コンパクトなエンジン冷却モジュール**：高密度の最新型の高温と低温のラジエーターと新開発の水冷コンデンサーを搭載し、快適性とエアコンによるエネルギー消費に悪影響を与えることなく車両前方のスペースの自由度を高めます。



アクティブグリルシャッター

接続されたドライビング

接続された車は周辺環境とリアルタイムでデータを送受信します。これにより、交通状況に常に適応し、交通状況のデータを共有することができます。また、ドライバーはスマートフォンによる遠隔操作で狭いスペースに駐車させることもできます。2016年2月に、車載テレマティクスのリーダーであるパイカー社を買収し、キャップジェミニ社とパートナーシップを締結したことにより、ヴァレオは新しい接続されたサービスの分野でのポジションをさらに強化しました。



SBD 接続サービス トラッカー

車載テレマティクスの市場は2022年までに4倍に成長。

2016年の予測

テレマティクス

ヴァレオの車載エレクトロニクスに関するノウハウと、パイカーの専門技術により、ヴァレオグループは現在市場からのニーズが高まっている**高速の接続性とサイバーセキュリティを備えた新しいテレマティクスシステム**を自動車メーカーに提供することができます。

ヴァレオ-パイカーのテレマティクスのラインナップは、革新的な車両間(V2V)と車両・インフラ間(V2I)の通信機能を備えており、これからのモバイルインターネットサービス(4G+)との互換性を備えています。また、ヴァレオ-パイカーのインテリジェント・アンテナ・モジュールは、あらゆる車両の通信技術を単体に収めたもので、性能を最適化しつつコストを低減することができます。

4G+

テレマティクスの製品群はこれからのモバイルインターネットサービス(4G+)と互換性を備えています

Mov'InBlue を展示エリアに出品

ヴァレオとキャップジェミニは、共同で史上初の量産可能なコネクティビティソリューション Mov'InBlue を開発しました。Valeo InBlue[®] スマートキーシステムとキャップジェミニのデジタル技術を組み合わせることにより、このパートナーシップで企業の車両管理とカーレンタル会社向けに、セキュリティの確保されたバーチャルキーの管理、リアルタイムでの車両データ収集、多数の車両を管理するツールなどからなるカーシェアリングサービスを生みだしました。ヴァレオとキャップジェミニは今年のパリモーターショーで公式に Mov'InBlue を上市します。

Mov'InBlue ソリューションは、さまざまな卓越したテクノロジーを提供します。例えば、Valeo InBlue[®]技術によって GSM ネットワークに接続しなくても車両の開錠と施錠をおこなえる車両とスマートフォンのダイレクトコミュニケーションです。これにより地下駐車場での使用が格段に簡単になります。

Remote Clean4U[™], 遠隔操作でフロントガラスの霜取りと虫汚れを除去

ヴァレオは今年のパリモーターショーの来場者にスマートフォンのアプリケーションを使用してフロントガラスの霜取りと虫取りができる Remote Clean4U[™]をお見せします。

Remote Clean4U[™] はドライバーがリモートで操作できる 2 つの画期的な機能を備えています。**霜取り**は車のエンジンを始動せずにフロントガラスの霜を 90 秒以内で溶かすことができる機能です。**虫取り**はフロントガラスにつく虫汚れを短時間で洗浄する機能です。それぞれの機能には専用の洗浄液を使用し、ヴァレオ独自の画期的なワイパーシステム **AquaBlade^{®1}** を使用します。洗浄液はノズルから噴射されるのではなく、ワイパーブレード

¹ AquaBlade[®] によって、フロントガラスを洗浄するのに使われる洗浄液を減らすことができるため、車両を約 2 キロ軽量化することができます。これは CO₂ の排出量を約 0.2 グラム減らす効果があります。

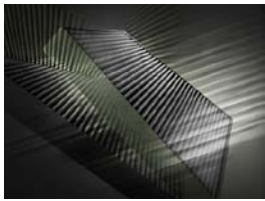
全体にある穴から正確に吹きつけられるため、洗浄液が無駄になることがなく、むらなく均一に拭き取ることができます。

ドライビングをもっと楽しいものに

車室内の空気のカオリティと快適さを高めるために、ヴァレオは乗員の健康を守り、ドライビングをより楽しくする製品を作りました。

高効率 PM2.5 フィルター

有害な汚染物質が車室内に入る量を低減するために、ヴァレオは超微粒子 (2.5 μm 以下) を 100% 近く除去できる高効率 PM2.5 フィルターを開発しました。



96%

の花粉アレルギーを
除去

密度の高い強化ファイバーを使用した PM2.5 フィルターにより、車室内の微粒子の濃度を WHO が推奨する水準 (24 時間で最大 $25 \mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下に抑えようとするものです。大気汚染が厳しい環境においても内気循環モードによって起動後 5 分以内に車室内の濃度をほぼ $0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ に低減できます。これによって心臓疾患や呼吸器疾患へのリスクを減らすことができます。ポリフェノール含有タイプ (抗アレルギーバージョンのみ) のフィルターは、花粉アレルギー反応を 96% 中和する効果があるためアレルギー予防効果があります。適正に効果を発揮するために、ヴァレオでは少なくとも年一回フィルターを交換することを推奨しています。

アロマディフューザーをプジョー・シトロエン・グループの車に標準装備

ドライバーと同乗者にその人なりに心地よい空間を提供するために、ヴァレオはアロマディフューザーを開発しました。現在、プジョー・シトロエン・グループの車に採用されており、このモジュールでは 3 種類の香りを選んで、それぞれに合う快適さを提供出来るように濃度や噴霧サイクルも調整できます。

将来のアロマディフューザーはもっとパーソナライズされたものになるでしょう。ヴァレオはドライバーと同乗者の反応を分析するセンサーとの組み合わせを研究しており、これにより渋滞時にはリラックス効果のある香り、ドライバーが疲労している時には元気がでる香りなど理想的な香りを出すことができます。

排出量の削減と直観的なドライビングにむけたイノベーションが、ヴァレオの戦略の基礎となっています。グループが幅広い分野で取り組んできた先進技術の数々がこの重点戦略の証です。2015年、ヴァレオは13億ユーロを研究開発に費やし、1406件の特許を出願し、約12000人のエンジニアを擁し、19カ所の研究センターと35カ所の開発センターでイノベーションに取り組んでいます。

2つの重点分野

直観的なドライビング

さまざまなマーケット調査が示しているように、ドライバーは渋滞や長距離の運転などの苦痛を減らして、その間に娯楽や休息、仕事や電話などの別のことをしたいと思っています。これらの期待に応じて、ヴァレオは直観的なドライビングという概念を発展させ、重点分野としてきました。ヴァレオはこのコンセプトをユーザーエクスペリエンスに基づいて車をより直観的で、安全で、運転しやすくすることだと考えています。

自動駐車や高速道路での自動運転などの技術を開発してきたヴァレオは、すでに運転支援の分野で世界的なリーダーです。ですから、ヴァレオには顧客のニーズに応える務めがあり、自動運転のヴァレオ Cruise4U から、Valeo InBlue[®]、Remote Clean4U[®]といった接続されたサービスなど、この成長市場においてあらゆる機会を捉えるべく幅広い技術を提案しています。

CO₂ 排出量の削減

ヴァレオの R&D 戦略はまた、運転性能と走る楽しさを損なうことなく燃料消費と CO₂ と汚染物質の排出量を低減し、低炭素モビリティへの移行をサポートすることを目指しています。ヴァレオは、この課題に向けて内燃機関エンジンの効率向上や、パワートレインの電動化、車両全体の重量とサーマルマネージメントシステムの最適化に貢献する画期的な技術を開発しています。

また、市場の期待を知り、このセクターの変化を先取りするために、ヴァレオは都市のモビリティから規制の変化まで、世界の社会情勢を常に研究しています。このアプローチにより、ヴァレオは CO₂ と汚染物質の排出量低減と、原材料資源の保護をイノベーションにおける優先課題としています。

スタートアップ・スピリット

接続され、自動化されて、クリーンな明日の車は、今までの車とは全く違うものになるでしょう。こうした車をデザインして作るには、現在の自動車業界に広く多彩なスキルを呼び込む必要があります。そこで、ヴァレオはさまざまな規模、分野の大学、スタートアップから大企業までさまざまなパートナーと協業しています。

オープン・イノベーション

ヴァレオは社会の大きな流れに迅速かつ柔軟に対応しつつイノベーション戦略を展開しながら、顧客のニーズに応える製品を開発し続けています。このスピリットに則って、ヴァレオは発想の源やパートナー先を多様化し、今年 3 回目を迎えたこの学生向けのグローバルな発明コンテスト「ヴァレオ・イノベーション・チャレンジ」、国境を越えて革新的なスタートアップへのベンチャーキャピタル投資のためにキャセイキャピタルへの参加、サフランやモービルアイとの協業、アレディアの株式取得、イベオとのパートナーシップのようなさまざまな取り組みをしています。



ヴァレオ・イノベーション・チャレンジ

学生と直接交流する機会をさらに増やすために、ヴァレオは 2013 年に学生向けのグローバルな発明コンテスト「ヴァレオ・イノベーション・チャレンジ」を開始しました。このコンテストでは、2030 年の車をもっとスマートで、直観的にするための新しい製品やシステム、アプリケーションを学生たちから募っています。このコンテストによって、世界中の大学との結びつきをさらに緊密にし、オープン・イノベーション戦略を推進したいと考えています。

スタートアップ・インキュベーター

起業家精神を育むヴァレオの独自性: 世界各地のエンドユーザーに役立つモビリティのソリューションを迅速に開発するために、ヴァレオは、R&D を中央にまとめるのではなく、世界各地に設けた 19 カ所の研究センターと 35 カ所の開発センターで、自主性をもったチームがイノベーションに取り組んでいます。

ヴァレオがこれまでもスタートアップとの交流を熱心に進めてきたのはこのためです。この中で 2007 年に買収して現在はヴァレオのカメラの開発センターとして活躍しているコンノート・エレクトロニクスや、資本参加をした LED 技術のスタートアップ・アレディアのような例もあります。

ヴァレオはまた、2016 年にサンフランシスコ・ベイエリアや、上海、フランスの BPI のように世界各地で複数のベンチャーキャピタルファンドに参加し、オープン・イノベーション・エコシステムを強化し、ローカルのスタートアップにアプローチできるようにネットワークを広げました。この取り組みにより起業家の間でもヴァレオの認知度と魅力が高まり、毎月 100 件以上の問い合わせが来ています。

トップ 100 グローバル イノベーター

ヴァレオはトムソン・ロイターズによる 2015 年トップ 100 グローバルイノベーターに選ばれました。

ヴァレオの最新ニュースをソーシャルメディアでチェック:

Twitter: https://twitter.com/Valeo_Group

Facebook: <https://www.facebook.com/Valeo.Group/timeline>

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/valeo/>

YouTube: <https://www.youtube.com/user/ValeoGroup>

ビデオ

直観的なドライビング: <https://www.youtube.com/watch?v=olqD6Z1UFFI>

ヴァレオ Cruise4U: <https://www.youtube.com/watch?v=2GFFfaEMLnw>

ドライバー・モニタリング: <https://www.youtube.com/watch?v=cnp9fjmvQh8>

Park4U[®] リモート: <https://www.youtube.com/watch?v=oT1A8HuqsNU>

ヴァレオ 48V e4Boost: <https://www.youtube.com/watch?v=DtJr2LHgLhI>

ヴァレオ・イノベーション・チャレンジ: <https://www.youtube.com/watch?v=YDiT5fBAabc>

自動車部品サプライヤーであるヴァレオは、世界の全自動車メーカーのパートナーです。高い技術力を持つヴァレオは、CO2 排出量の削減と直観的なドライビングの発展に貢献する革新的な製品とシステムを提供します。

2015 年度のヴァレオグループの売上高は約 145 億ユーロであり、OEM 売上の 10%以上を研究開発に投資しました。ヴァレオは、32 カ国に 148 カ所の工場、19 カ所の研究センター、35 カ所の開発センター、15 カ所の物流センターを構え、約 88,800 人の従業員を擁しています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しており、CAC40 指数に採用されています。

本件に関するお問合せ先:

株式会社ヴァレオジャパン
〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
グラスシティ元代々木 4 階
Tel: 03-5465-5710 (代表) Fax: 03-5465-5720
WEB サイト: <http://www.valeo.co.jp/>
報道関係お問合せ先 広報担当 石井
Tel: 03-5465-5744
E-mail: voko.ishii@valeo.com